

技術起点の新規事業戦略立案

多くの製造業は、既存事業領域の市場成長が頭打ちになっているため、新規事業開発が経営上の重要課題となっており、これまで蓄積してきた保有技術の活用を志向しています。

保有技術活用の検討は、自社技術の把握から始まりますが、技術的な強みを正確に捉えられていない、他部門の技術までは把握できていない等、検討の最初の段階でつまづいている企業が多いのが現状です。

三菱総合研究所は、“自社ならではの技術的な価値”を客観的に評価し、技術的な価値が活きる新規事業開発をご支援します。

本提案が想定する貴社の課題

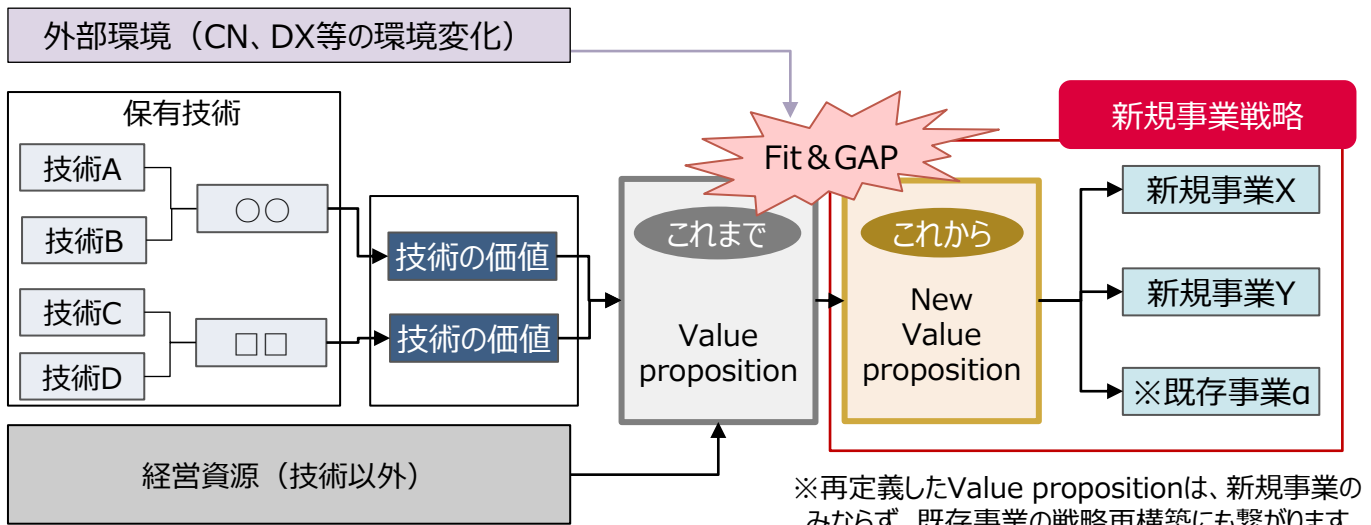
- 自社技術の強みは把握しているつもりだが、妥当なのか自信がない
- 自社技術で出来る事を考えてしまうため、新市場で競合に勝てそうにない
- 全社技術で創造できる事業を探しているが、全部門の技術が把握できていない
- 要素技術の新展開先は考え尽くしてしまった感がある

ご提案主旨

自社技術の強みを顧客目線の価値で定義し、カーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーション等の環境変化を捉えた新規事業開発をご支援します

→ 顧客目線の価値で定義することで、今後獲得しなければならない技術もはっきりします

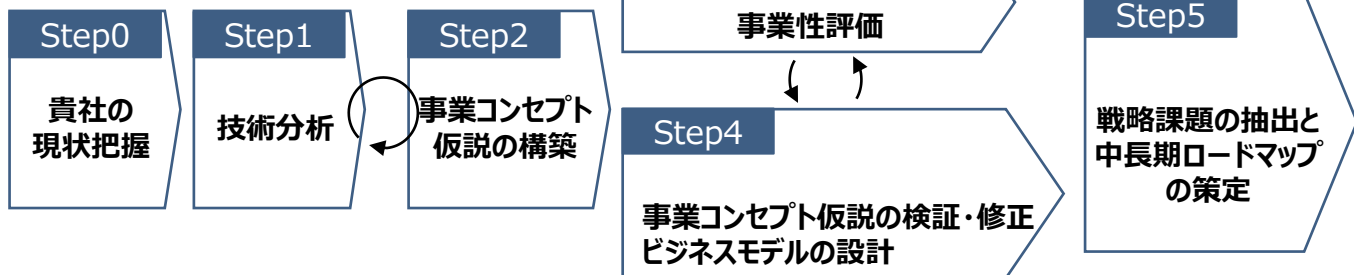
- 1 自社技術の強みを顧客価値に変換して明確化
- 2 技術起点新規事業開発におけるつまづきを軽減
- 3 CNやDX等の環境変化を捉えた新規事業開発をご支援



プロジェクトの進め方

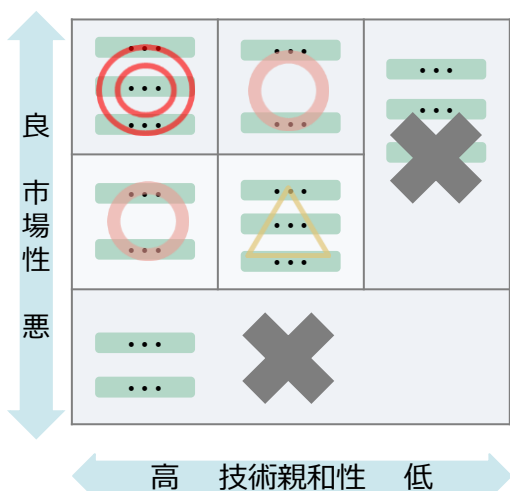
事業コンセプト仮説の構築

仮説検証・参入ロードマップ策定

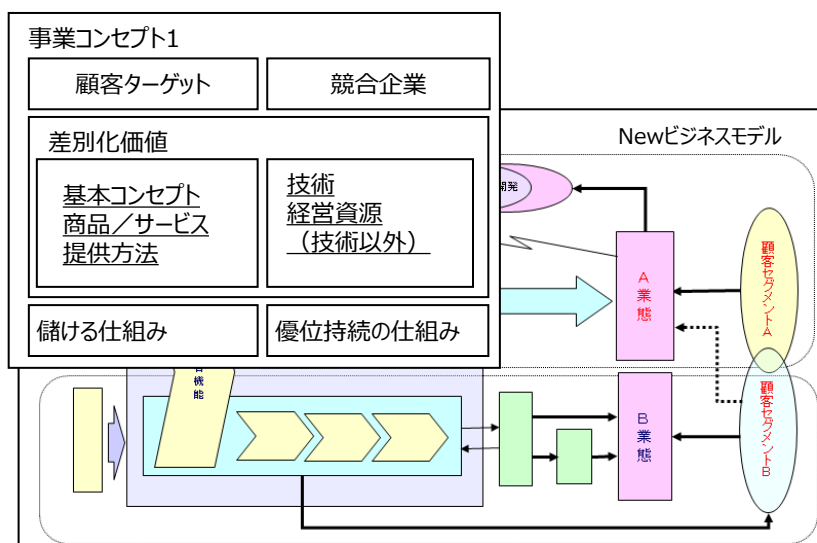


アウトプットイメージ

新規製品・サービスの評価



事業コンセプトとビジネスモデル



当社の特徴

- 技術の強みを顧客価値に変換する独自のノウハウを有しており、多様な業種と企業規模でのコンサルティング実績があります。
- 技術起点の新規事業開発のつまずきポイントを熟知しており、つまずきを回避しながらプロジェクトを進めることが可能です。
- 技術に強い国内有数の「シンクタンク」による「コンサルティング」であり、技術と事業の双方の理解に基づき、自社の技術的な差別化価値が活きる新規事業開発をご支援します。

実施期間

基本戦略策定まで約3～6カ月

お問合せ先

株式会社 三菱総合研究所

MRI 三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 TEL : 03-6705-6053
デジタルイノベーション部門 ビジネスコンサルティング本部 (担当)松浦、原田